

## 平成 30 年度 第 1 回あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議 議事録(摘録)

1. 日時:平成 30 年 6 月 20 日(水) 13 時 00 分～14 時 30 分

2. 開催場所:麻生区役所4階 第3会議室

3. 出席者

(1)委員

吉松昭彦委員長、村井委員、今村委員、植田委員、伴委員、伊藤委員、原委員、森委員、吉垣委員  
大川委員、岩田委員、依田委員、日暮委員、永井委員

(2)事務局

若尾保健福祉センター所長、猪又事務局長、池田地域支援担当係長、杉浦児童家庭課長、大和田  
高齢・障害課長、平田保護課長、海野衛生課長、高石危機管理担当課長、三枝生涯学習支援課長、  
藤平地域ケア推進担当係長、白勢地域ケア推進担当主任、山本地域ケア推進担当

4. 次第

1 開会

事務局長挨拶

事務局から

委員、事務局紹介

委員長、副委員長選任

2 議事

(1)あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議と第 5 期麻生区地域福祉計画について

(2)地域包括ケアシステム構築に向けた取組について

○地域自己診断ツールを活用した地域づくりについて

(3)その他

○今年度の会議スケジュールについて

3 閉会

### 【配布資料】

会議次第

委員名簿

座席表

あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議開催運営等要綱

資料1 地域自己診断ツールを活用した地域づくり

資料2 地域力チェック『ちいきのちからシート』

資料3 川崎市地域ケア会議運営ガイドライン(抜粋版)

5. 公開・非公開の別 公開

6. 傍聴者 0名

## 7. 議事摘録

### 1 開会

### 2 議事

(1)あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議と第5期麻生区地域福祉計画について  
吉松委員長 議題1の「あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議と第5期麻生区地域福祉計画について」事務局から説明をお願いします。

事務局 地域ケア推進担当主任より説明

村井委員 これまで第1期計画からずっと関わらせていただいている者として、長い時間をかけて地域の方々と話し合いながら、ここまで育ててまいりました。様々な個別の取組みがありますが、大きな目標をもって統合されて計画したものです。時々刻々と地域は変わっているので、計画の中身について、是非とも皆様から地域の現状に合った御意見をいただければと思っておりますのでよろしくお願いたします。

(2)地域包括ケアシステム構築に向けた取組について

吉松委員長 次に、議題2「地域包括ケアシステム構築に向けた取組について」事務局から説明をお願いします。

事務局 地域ケア推進担当主任より、地域自己診断ツールを活用した地域づくりについて、資料に基づき説明(資料1、2)

村井委員 田園調布学園大学が協力させていただきまして、このようなものができました。たくさんの方から御意見をいただいて、地域の力が見える化して、それを基に議論を深め、その中から自分たちにできるものは何だろうか、とか、自分たちに足りないものは何だろうか、ということを見つけて、自分がやれることはやっという、区や様々な主体と連携して一緒にやれることはなんだろうか、そんなことを見つけ出すための力になるかな、と期待しています。この「ちいきのちからシート」は、特に自助、互助という観点から、地域住民が自治を目指す際の意識が見える化する、というのが大きな取組です。地域福祉を進めていく中で、身近な人が同じことを課題として感じていたり、理想の地域像が同じだった、ということを確認する機会を作って、力を合わせてやっという、というきっかけになればうれしいと思います。それにはただ話し合うとか、同じ時間を過ごすだけではなく、何かの方法論を使って意見や考え方を整理、確認する仕組みが必要だ、ということからできたものです。多くの方から御意見をいただき作りあげた24項目の質問にお答えいただくと、レーダーチャートといわれる8角形のグラフに反映されていくという仕組みになっています。ある意味、通信簿ではないですが、地域の何かが見える、みなさんの気持ちと地域の実情が合わさった形で反映されるものです。一人ひとりの形や、地域のみなさんの平均をとった形など、使い方は様々あると思いますが、ここに出てきた形によって、地域の特性が見て取れると思います。その特性を見て、地域の強みを一層育んでいこうか、とか、逆に弱み、足りないところが見えてきたら、補おう、とか地域で話し、何か動き出すきっかけになればと思います。このシートは、ますます成長していかないといけないものかもしれませんが、今の段階で多くの方からご意見をいただいてこのような形になりました。せっかくですから、今日は委員の皆さんがご家庭や地域にお持ち帰りいただいて、ご家族やお仲間と試していただいて、何ができるのだろうか、どんなことを必要としているのだろうか、ということ話し合うきっかけにしてほしいと思います。今後はレーダーチャートの形によって、こんな取組ができたらいというようにメニューを提示し、アドバイスができるようになるといいと思います。地域の方々が、何かを始めるきっかけ、進むべき方向に気づくきっかけになるようなツールになるといいなと思っております。

永井委員 地域を自己診断する、改めて自分の地域がどういう地域なのか確認するということは大切だと思います。平成30年度は地域ケア圏域会議を中心に実施していこうとご説明いただきました。地域ケア圏域会議の参加者は、町会自治会の役員や、民生委員児童委員が多く、地域の色々な年代の方の問題に取り組んでいる方々だと思いますが、地域ケア圏

域会議の中では、どうしても高齢者の福祉の問題を取り扱うことが多いと思います。子育てをしている世代や、障害をお持ちの当事者の方たちも、「ちいきのちからシート」を実施できる機会があればいいと思います。

村井委員 おっしゃる通りだと思います。

事務局 今年度は地域ケア圏域会議を中心にスタートしていく予定ですが、子育て世代の方や障害のある方などに対しても今後展開していきたいと考えています。今年度は地域ケア圏域会議で実施しながら方向性を検討し、次の段階として、今後の展開の仕方を検討していきたいと思います。こちらの会議でもまた経過をご報告いたします。

吉松委員長 例えば、他地域との比較をするために、麻生区以外の他区への展開は検討していますか。

事務局 今後ブラッシュアップしていく中で検討することになるかもしれませんが、現段階では麻生区の中での様々な展開を考えているところで、他区への展開まではまだ考えておりません。

村井委員 良いものは自然と広まっていくものなので、他区からも注目されるようなものに、是非みなさんのお力で作り上げていただきたいと思います。

森委員 先日麻生区内で開催された市長との車座集会に参加しまして、そこでは、「ちいきのちからシート」を基に地域課題の検討をいたしましたので、「ちいきのちからシート」を初めて体験しました。今まで改めて地域について振り返るという機会はなかったので、振り返り、気づくというきっかけができて大変良かったと思いました。私自身の結果は、「多様な繋がり」が強みとして出て、弱みとしては「地域愛着」という結果が出ました。グループワークでそれぞれの結果についてみなさんで話し合い、とても良い経験ができたので、今後民生委員の集まりの中でもやっていただきたいと思います。

### (3)その他

事務局 今年度の会議スケジュールについて連絡

吉松委員長 事務局から、今年度のスケジュールについての連絡でした。それでは、これもちまして、本日の議事については終了となりますので、ここで進行を事務局にお返しします。委員のみなさま、スムーズな会の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

## 3 閉会

事務局 それでは、本日の会議は閉会いたします。本日はお忙しい中御参加いただきまして、ありがとうございました。

14時30分閉会